

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 2月24日提出

所属	職名	氏名
脳科学研究科 (高等研)	助教	山形 一行
研究題目	白血病で頻発する TET2 遺伝子変異の意義の解明	
研究成果の概要	<p>なぜ遺伝子の変異がガンを引き起こすのだろうか？白血病もまた遺伝子の変異により起こると考えられており、白血病の生検サンプルより多数の遺伝子変異が報告されている。その中でも、白血病患者のコホート群から多数発見されている TET2 遺伝子の変異がもたらす白血病態への意義を明らかにするのが本申請の最終目標である。</p> <p>本研究は TET2 遺伝子の CR 領域の機能を解析することに焦点を絞り、CR の変異が TET2 の生化学的、細胞生物学的な機能にどのような影響を及ぼすか明らかにすることを目的とした。本申請は予想以上の成果を挙げ、以下の様な学会発表、招待講演をするに至った。</p> <p><招待講演></p> <ul style="list-style-type: none">・ 1-3: "The epigenetic role of TET2 proteins in the development of myeloid leukemia" <ol style="list-style-type: none">1. 東京工業大学 生体システム専攻 2015年2月4日2. 滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 2014年11月21日3. 理化学研究所 眞貝細胞記憶研究室 2014年9月11日4. 大阪大学大学院 医学系研究科 2014年8月22日5. 大阪大学 蛋白質研究所 ランチョンセミナー 2014年8月22日 <p><学会発表></p> <ol style="list-style-type: none">1. 転写研究会 若手ワークショップ O-18 2015年2月5日-7日2. 日本神経科学会 一般口演 O2-J-3-3 2014年9月11日-13日 <p>2014年度7月に赴任したばかりで研究費がなく、本研究は個人研究費によって大いに支えられたと言っても過言ではない。2015年度は本申請を論文発表まで漕ぎ着けられるよう、さらに努力する所存である。</p>	